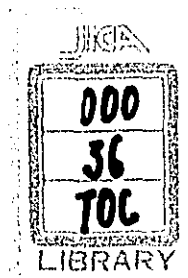


# 大阪国際研修センター概要

1971年度

海外技術協力事業団

大阪国際研修センター



国際協力事業団	
受入 月日 '84. 9. 13	000
登録No. 15029	36
	TOC

JICA LIBRARY



1012617[5]

1. 大阪国際研修センター（O.I.T.C）の沿革

アジア、中近東、アフリカ、中南米等の開発途上にある諸国より研修員の受入事業を開始した1954年（昭和29年）以来、年々その規模は拡大の一途をたどり1970年（昭和45年）12月末までにその総数は13,723名に達しました。

受入数の増大に伴い、研修業種も非常に広範多岐に亘り文字通り稲作から原子力研究にまで及んでいます。

従来、海外からの技術研修員が、国内において十分な研修活動が出来るように研修および宿泊の拠点として東京インターナショナルセンター（東京）、三崎国際水産研修会館、茨城国際農業研修会館、名古屋国際研修会館が建設され大いに、その機能を発揮して来ましたが、これに引続き、海外技術協力事業団は研修上極めて重要な位置を占める関西地方に、地元大阪府始め関係諸機関の御協力を頂き京阪神工業地帯の中心大阪府茨木市春日丘に大阪国際研修センターを建設しました。

同センターは1966年（昭和41年）に着工され、1年1ヶ月の日数と約1億7,000万円の建設費をもって1967年3月に完成し関西地方における研修員受入事業の本拠地となっています。

2. 大阪国際研修センターの施設概要及び職員構成、その他

所在地	大阪府茨木市南春日丘5丁目1番28号
電話番号	(0726) 23-0631~5
建設費	1億7,000万円
敷地	3,022㎡(914坪)
構造	鉄筋コンクリート、地上6階、一部2階
建築面積	715㎡
延床面積	2,415㎡
室数	66室(個室62 ツウイン4)
宿泊人数	70名
主要施設	全館冷暖房施設完備

職員構成	
館長	1
総務室長	1
営繕	1
会計	2(女子1名)
フロント(電話)	2(女子)
庶務	1
研修事務	2
研修監理員	6
運転手	1
機械技師	4
清掃員	6(女子3名)
合計	27名

1階	2階	3階～6階
1. 館長室	1. 食堂 { 研修員用 職員用	1. 研修員居室
2. 応接室	2. 教室 4ヶ所	2. 小ロビー各階
3. 事務室	3. 語学研修室	3. 共用シャワー トイレ各階
4. 和室	4. ロビー(式場)	(特に3階は、 婦人用トイレ 及びシャワー室 がある)
5. 宿直室	5. 娯楽室	
6. フロント	6. 講師控室	
7. ロビー	7. 洗濯室	
8. 機械室		

### 3. 大阪国際研修センター案内

#### 1) 宿泊料金

	シングル	スペシャル	ツイン		和室	
OTCA	1,100	1,500	1B 1,800 2B 1,300		1B 1,100 2B 1,000	
一般	1,500	1,900	1B 2,200 2B 1,700		1B 1,500 2B 1,400	

※1B、2Bは各々1人泊、2人泊を云う。その1人当り料金とする。

#### 2) 食事時間

朝食 7:00 ~ 9:00 (日曜日 8:00 ~ 10:00)

昼食 12:00 ~ 14:00

夕食 17:30 ~ 20:00

(注)セルフ、サービスシステム

#### 3) シャワー時間

朝 6:00 ~ 9:00

夕 17:00 ~ 22:00

#### 4) 禁止事項

- 1 電熱器、ストーブ、トスター、その他の熱器具は各居室内では使用出来ないことになっております。
- 2 宿泊者との面会は一階ロビー、又は2階食堂に限り許可されております。

#### 5) 電話及びインターフォン

電話：研修員のため1階ロビーに公衆電話が設置されて居ります。

外部から研修員への電話は各階ロビーの受話器で通話が可能です。

インターフォン：フロントから研修員居室への連絡はインターフォンを通じ行なわれています。

#### 6) 洗濯、その他

長期滞在者の寝具、まくらカバー、ベット、シート等は毎週1回交えられます。二階洗濯室に自動洗濯機3台、乾燥器3台、電気アイロン及びプレス台が設置してあります。

#### 7) 娯楽設備

在館者のための娯楽室が2階に設けられており、室内にはステレオ及びレコードや簡単な読み物がおかれてあります。

テレビは二階食堂内にはカラーテレビ、2階ロビー娯楽室、及び1階ロビーに白黒テレビ4台が設備されています。

4. 大阪国際研修センター各国別研修員（旅行者は含まず）  
受入実績（42年4月1日から45年3月31日現在まで）

	国名	42年度		43年度		44年度		合計	
		集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
北東アジア地域	韓国	3		8	2	5	2	16	4
	中国(台湾)	3	1	5		5	0	13	1
東南アジア地域	ラオス	2		1		0	0	3	0
	マレーシア	9	1	10		3	0	22	1
	ベトナム	1		0		1	0	2	0
	フィリピン	5		15		12	1	32	1
	ビルマ	4	3	4	2	3	2	11	7
	パキスタン	0		5		7	1	12	1
	ネパール	1		2		4	1	7	1
	タール	9	5	12		12	7	33	
	セイロン	1		2		3	0	6	0
	シンガポール	0		1		2	0	3	0
	インドネシア	5	5	11		10	4	26	9
	インド	2		6		0	0	8	0
	カンボジア					0	2	0	2
中近東アフリカ地域	アフガニスタン					1	2	1	2
	トルコ	0		2		2	0	4	0
	ガーナ	0		1		0	0	1	0
	エチオピア	1		0		3	0	4	0
	イラン	1		5		3	0	9	0
	イラク					2	0	2	0
	シリア					1	0	1	0
	アラブ連合	1		6		5	0	12	0
中南米地域	メキシコ	2		1		0	0	3	0
	ペルー	1		1		1	0	3	0
	ブラジル	4		3		1	1	8	1
	コロンビア	1		0		0	0	1	0
	アルゼンチン	1		0		0	0	1	0
	ボリビア					1	0	1	0
	合計	57	15	101	4	87	23	245	42

研 修 員 滞 在 期 間			
年度 期間	昭和42年	昭和43年	昭和44年
3ヶ月未満		7人	5人
6ヶ月未満	14人	47人	64人
9ヶ月未満	30人	32人	10人
12ヶ月未満	13人	15人	31人
合 計	57人	101人	110人

主要受入国順位	
国 別	人 数
タ イ	45人
インドネシア	35人
フィリピン	33人
マレーシア	23人
韓 国	20人
ビ ル マ	18人
中 国	14人
アラブ連合	12人
ブ ラ ジ ル	9人
イ ラ ン	9人
イ ン ド	8人
ネ パ ール	8人
セ イ ロ ン	6人
エチオピア	4人
ト ル コ	4人

研 修 員 の 平 均 年 令		
42年度	43年度	44年度
34才	34才	33才

5. 大阪国際研修センターのオリエンテーション(例)  
(1日約5時間)

	学 科	大学名(又は機関名等)	教 授 名
1日	大阪の経済	桃山学院大学長	竹内正己
2日	映 画	現在の日本、日本の四季 科学と技術、日本の産業	
3日	世界の中の日本経済	京都大学東南アジア研究 所長	市村慎一
4日	日本の歴史	奈良女子大学教授	前田一良
5日	日本の地理	奈良女子大学教授	辻田右左男
6日	バス旅行	京都国際会議場ほか見学	



6. リクリエーション実施状況（例）

4 月	京都バス旅行（国際会議場、清水寺ほか）
5 月	観 劇 （宝 塚）
6 月	奈良バス旅行（東大寺、法隆寺、春日大社、若草山ほか）
7 月	京都バス旅行（嵐山、金閣寺、三十三間堂ほか）
8 月	親善パーティ（研修員、センター職員、指導官）
9 月	比叡山、琵琶湖、バス旅行
10 月	観 劇 （宝 塚）
11 月	神戸バス旅行（六 甲、神戸港めぐり）
12 月	ボウリング大会及びもちつき
1 月	観 劇 （宝 塚）
2 月	家 庭 訪 問（京 都）
3 月	京都バス旅行（平安神宮、清水寺ほか）

7. 日本語コースの実施状況

昭和45年度

コース名	コース数	クラス人数	科 目	学習期間	週間時間数
初 級	7	約 10～15名	会 話	8 週間	6（月水金 PM6:30 PM8:30）
中 級	2	”	”	”	6（ ” ）
上 級	1	”	”	”	6（ ” ）
インテンシブ	3	約 2～8名	会話及び 文 法	4 週間	25（月～金 PM9:00 PM3:00）

昭和46年度大阪国際研修センター集団研修コース実施計画

	集団研修コース	定員	研 修 期 間													関係省	研 修 機 関		
			計(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			47年度	
1	上級技能者訓練	10	12	7													31	労働省	大阪府立東淀川専修職業訓練校
2	微生物病研究	8	12							1							9/31	文部省	大阪大学微生物病研究所
3	歯科	8	12	7													31	OITC	大阪歯科大学
4	印刷技術	8	5	7					31									OITC	中田印刷、ヤマト印刷、新光美術
5	ガラス工学	8	5.5							1							15	通産省	工業技術院、大阪工業技術試験所
6	農器具整備	10	6			14							18					農林省	久保田鉄工、ヤンマーディーゼル
7	中小企業経営管理	10	3											20			4/19	OITC	大阪府立産業能率研究所
8	鉄道線路保守改良	8	3				1		31									運輸省	国鉄大阪鉄道管理局
9	プラスチック	8	6							1							31	OITC	大阪市立工業研究所
10	貨幣鋳造	5	4.5													1	7/15	大蔵省	大阪造幣局
11	電子工学	8	3				15		14									OITC	大阪府立工業奨励館、大阪大学工学部
12	船舶整備	8	6						15								14	運輸省	船舶工業会、三井造船、藤永田造船所
13	整形外科及びリハビリテーション	5	12	7													31	OITC	大阪大学医学部病院
14	包装・物流	13	3						1		30							OITC	大阪府立工業奨励館
15	歯科技工士	5	6						1								28	OITC	大阪歯科大学、付島歯科技工士学校
16	繊維製品の染色加工	8	4													1	9/30	OITC	大阪府立繊維工業指導所

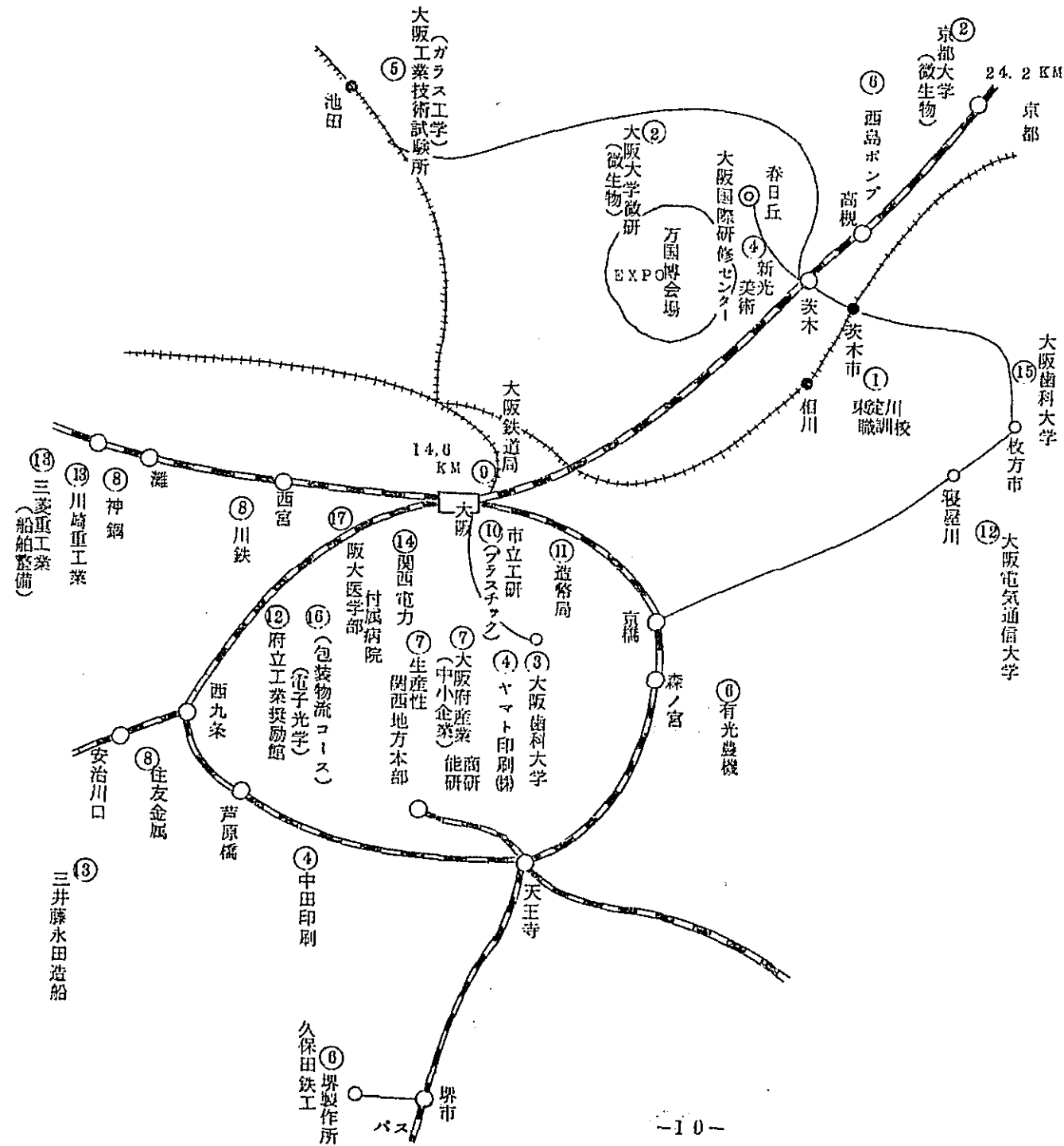
9. 個別研修員受入実績 (44年度)

(昭和44年4月1日～45年3月31日)

科 目	国 籍	人 数	期 間	研 修 受 入 先	宿 舎
歯 科	韓 国 ネパール	(1) } 2 (1)	4月1日～3月26日(12ヶ月) 4月12日～7月3日(2.5ヶ月)	大阪歯科大学	O.I.T.C
電子顕微鏡	ビルマ	2	(2人)4月1日～8月6日(6ヶ月) (1人再入館) 9月17日～2月6日(4ヶ月)	京大ビールス研究所	O.I.T.C
工 作 機 械	韓 国	1	4月1日～10月19日(6.5ヶ月)	大 日 金 属	O.I.T.C
印 刷	パキスタン	1	9月8日～12月7日(3ヶ月)	中 田 印 刷	O.I.T.C
放 射 線	アフガニスタン	1	6月15日～1年間(12ヶ月)	府立成人病センター	O.I.T.C
整 形 外 科	アフガニスタン	1	2月16日～1年間(12ヶ月)	大阪大学医学部	O.I.T.C
鉄 鋼	インドネシア	1	2月5日～4月4日(2ヶ月)	共 栄 製 鉄 (株)	O.I.T.C
電 信 電 話	カンボジア	2	5月26日～7月10日(2ヶ月)	国 際 電 電 (株)	O.I.T.C
心 臓 外 科	インドネシア	1	7月31日～1年(12ヶ月)	神 戸 大 学	下 宿
臨 床 生 化 学	"	1	7月31日～1年(12ヶ月)	神 戸 大 学	下 宿
臨 床 病 理 学	"	1	10月18日～1年(12ヶ月)	神 戸 大 学	下 宿
気 象 レーダー	フィリッピン	1	3月2日～20日(18日)	大 阪 気 象 台	O.I.T.C
電 力	ブラジル	1	9月1日～12月17日(3.5ヶ月)	新日本技術コンサルタント(株)	O.I.T.C
道 路 建 設	タ イ	7	6月29日～9月28日(3ヶ月)	小 松 製 作 所	O.I.T.C

計 23 名

10. 大阪センター集団コース研修実施施設所在地略図



1.	上級技能者訓練コース
2.	微生物研究コース
3.	歯科コース
4.	印刷コース
5.	ガラスコース
6.	農機具整備コース
7.	中小企業経営管理コース
8.	鉄鋼コース
9.	軌道保守改良コース
10.	プラスチックコース
11.	貨幣製造コース
12.	電子光学コース
13.	船舶整備コース
14.	電力コース
15.	歯科技工コース
16.	包装・物流コース
17.	整形外科 リハビリテーションコース



11. 大阪国際研修センター案内図

